

FRIS

Hub Meeting ⑨

第9回 FRIS ハブミーティング

2019.

12.26

THU 11:00 - 12:00

学際科学フロンティア研究所
セミナー室 (1F)

申込不要



組織恒常性・病態・環境応答を 細胞の振る舞いから理解する

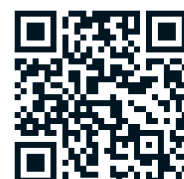
Understanding cellular logic of tissue homeostasis,
diseases and environmental responses

発表者：

中嶋悠一郎 助教 (学際科学フロンティア研究所 新領域創成研究部／生命・環境)

遺伝子の変異や外界からの刺激、温度や栄養といった環境因子に対して、動物がどのように応答して体の恒常性を維持するのか、そして病態をはじめとした劇的な変化が誘導されるのか。私は、こうした「生き物らしい」生命現象の仕組みを分子・細胞・個体レベルで理解することを目指しています。研究開始以来、動物個体における「細胞の振る舞い」を観察と操作によって紐解くことで、生命現象を理解するアプローチをとっています。本セミナーでは、モデル動物であるショウジョウバエを用いて行った恒常性維持や病態発症メカニズムに関する研究成果を話します。また、環境変化に鋭敏な応答を示すクラゲを用いた研究展開についても紹介します。生き物らしさの理解や細胞ダイナミクスに興味のある、分野内外の方のご参加をお待ちしております。

FRIS Hub Meeting
<詳細はこちら>



お問い合わせ
企画部 (當真)
toma@fris.tohoku.ac.jp

東北大学 学際科学フロンティア研究所